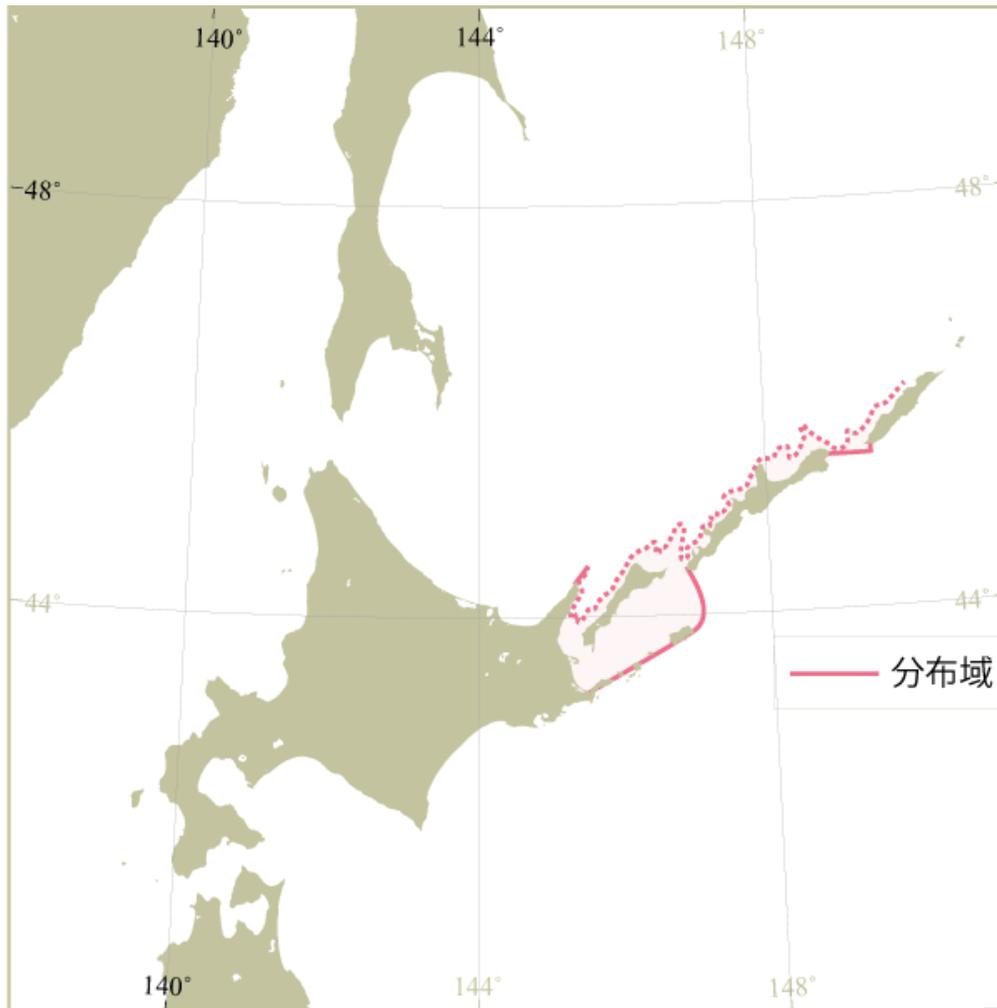




マダラ根室海峡 令和4年度資源評価結果

生物学的特性

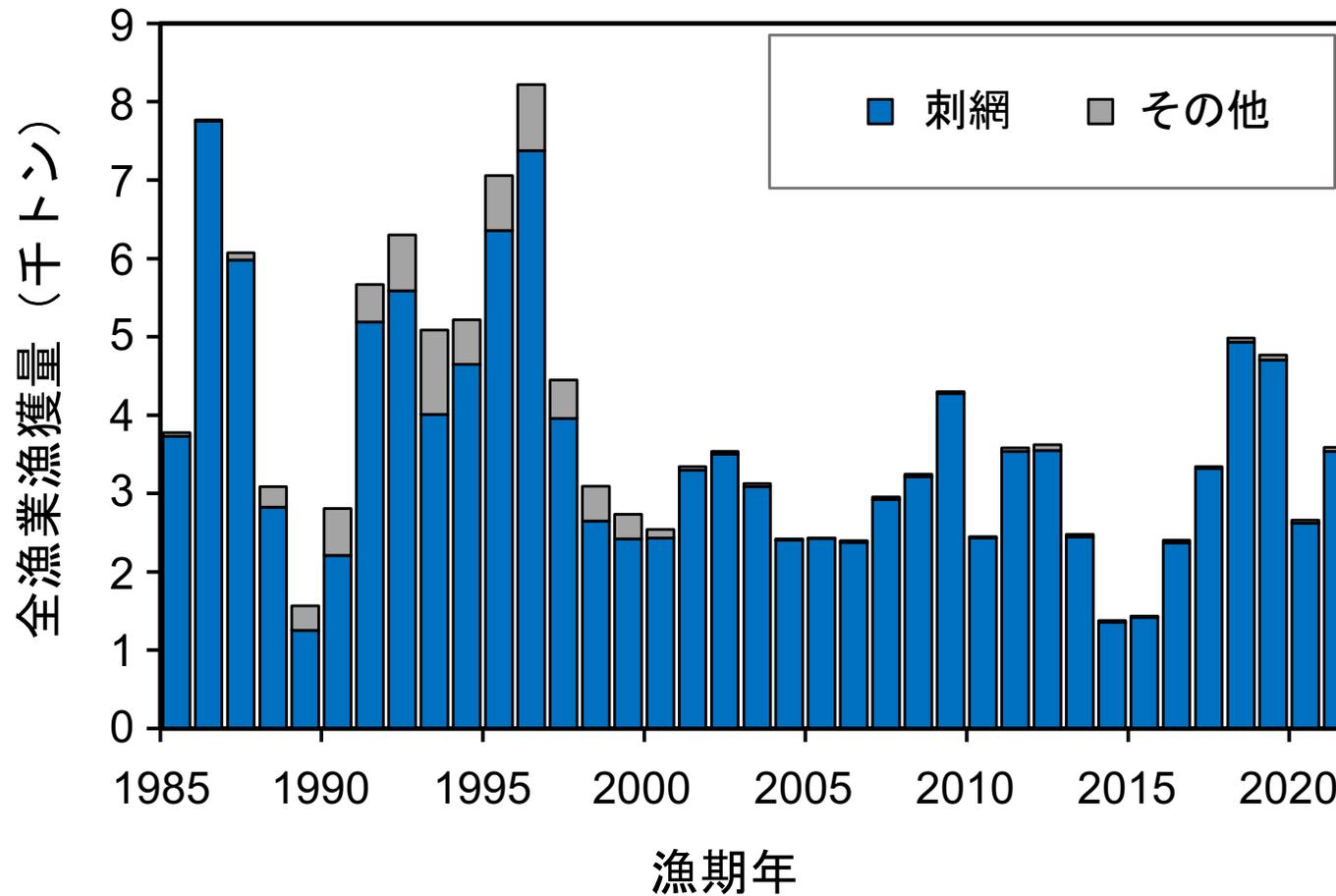


生物学的特性

- 寿命：不明
- 成熟開始年齢：不明
- 産卵期・産卵場：不明
産卵場は沿岸域に散在していると考えられる
- 食性：幼魚期は主にカイアシ類、底生生活移行後は、主に魚類、甲殻類、頭足類、貝類
- 捕食者：海獣類

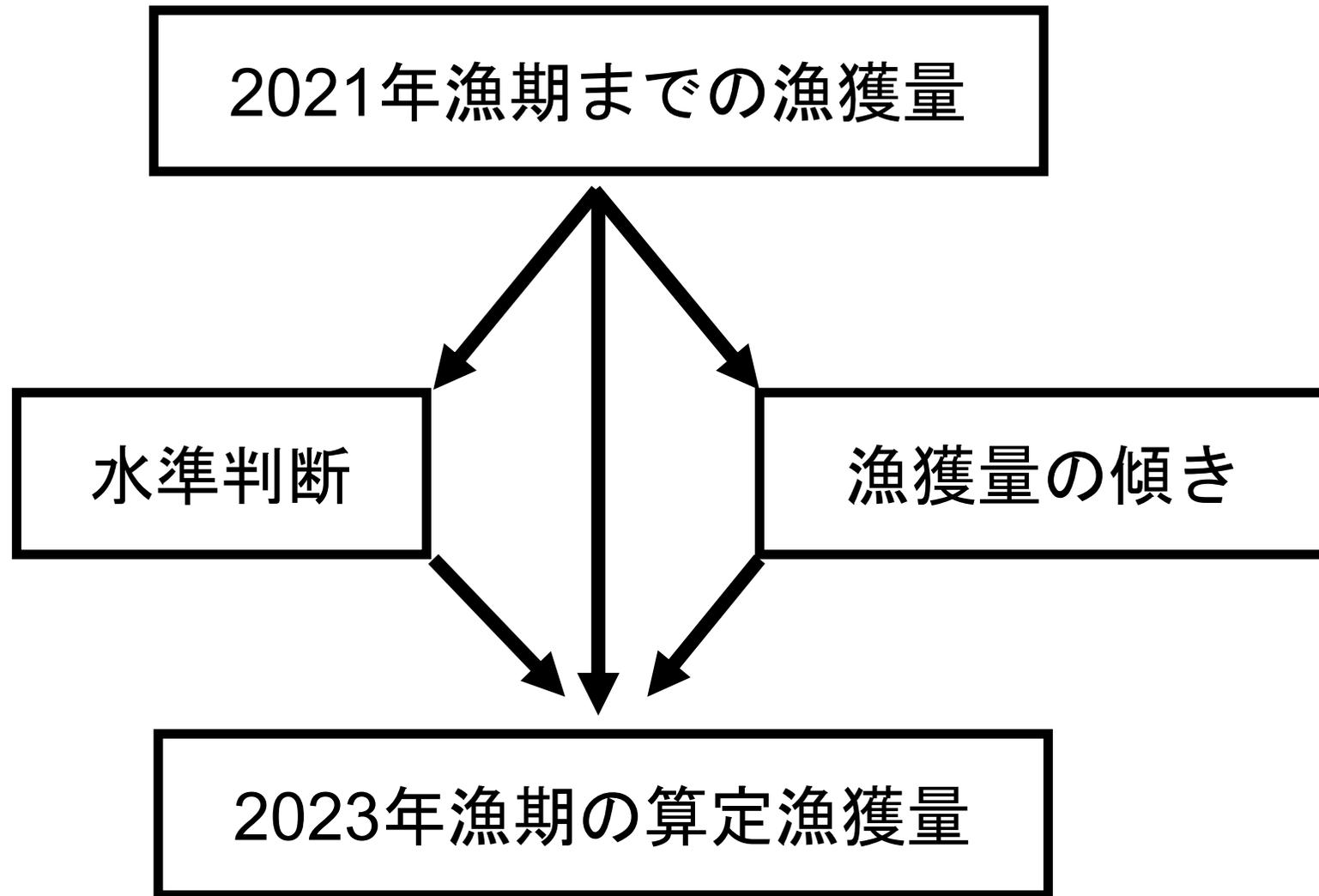
- ほぼ周年漁獲されるが、冬季～春季に漁獲量が多い

漁獲の動向

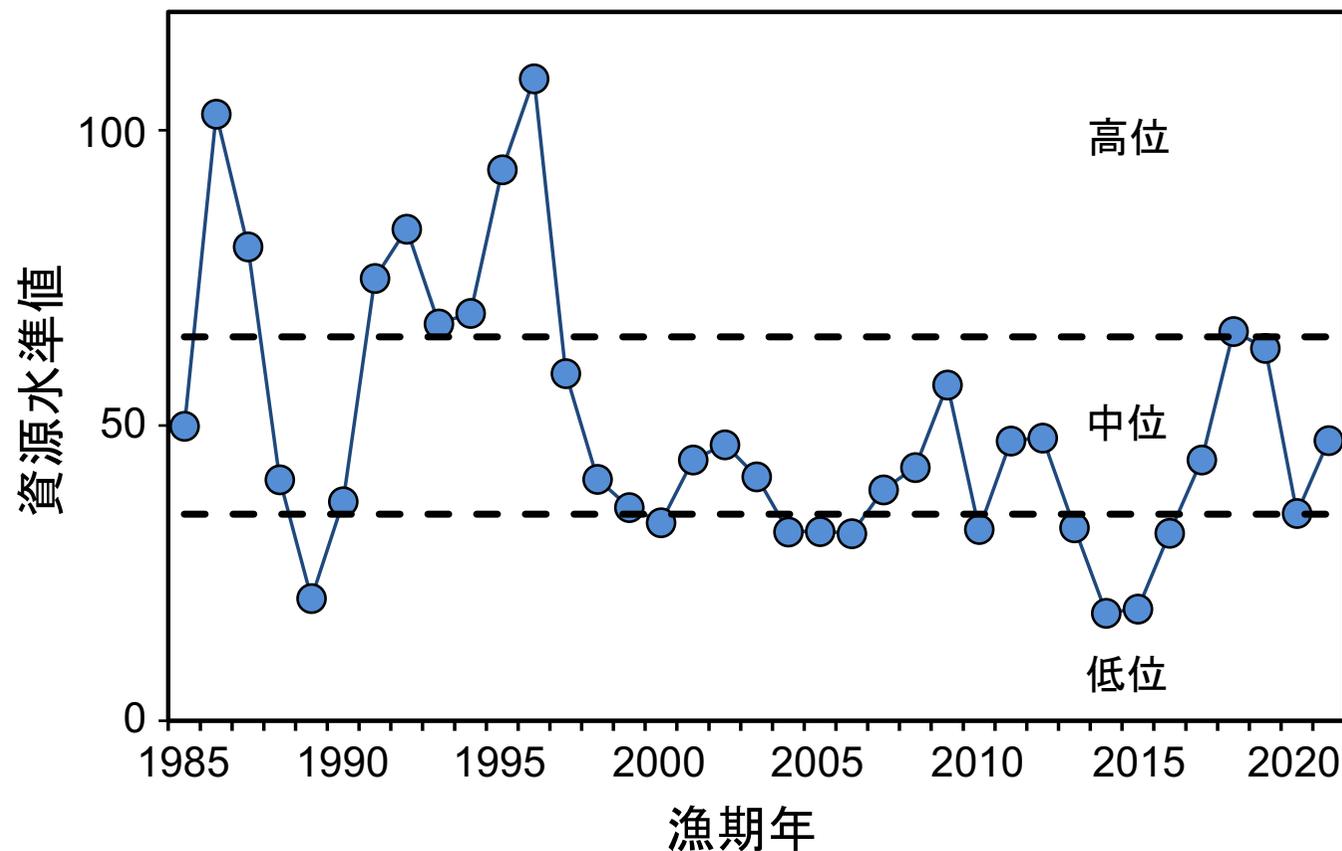


- 2021年漁期（4月～翌年3月）の漁獲量：3,589トン（2020年漁期：2,658トン）
- 沿岸漁業により漁獲され、特に刺網の漁獲が多い

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分 低位／中位：資源水準値35、中位／高位：資源水準値65
(1985年漁期以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の漁獲量の値を指数として算出)

- 資源水準：2021年漁期の資源水準値は47.5であり「中位」
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年漁期）の漁獲量の推移から「横ばい」

資源評価のまとめ

- 資源水準は「中位」、動向は「横ばい」
- 漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2023年漁期算定漁獲量

管理基準	Target/ Limit	2023年漁期算定漁獲量 (百トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの 増減%)
0.9・Cave3-yr・0.92	Target	24	—	—
	Limit	30	—	—

- ABC算定規則2-2) により、 $ABC\ limit = \delta_2 \times Ct \times \gamma_2$ で計算
- δ_2 : 0.9 (Cave3-yrを使用し、かつ低位水準の幅が狭くなる水準定義を使っていて、資源水準が中位である場合の推奨値)
- Ct : Cave3-yr (直近3年間 (2019~2021年漁期) の平均漁獲量)
- γ_2 : 0.92 (漁獲量の変動で求まる係数)